

ICT活用「みんなで研修」プログラム⑧

情報活用能力の育成に向けた
組織的な取組

北海道教育庁ICT教育推進局
ICT教育推進課

内容

- 1 「情報活用能力とは」
- 2 「学習活動の視点から見た
情報活用能力一覧」
- 3 「情報活用能力の育成に向けた
カリキュラム・マネジメント」
- 4 「参考となる資料について」

1 情報活用能力とは

学習指導要領における情報教育やICT活用のポイント

小学校：2020年度全面実施、中学校：2021年度全面実施、
高等学校：2022年度から年次進行で実施

小・中・高等学校共通のポイント（総則）

- **情報活用能力**を、言語能力と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け
- **学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実**を明記

小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

- **小学校プログラミング教育の必修化**を含め、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を**充実**。
 - 小学校：文字入力など基本的な操作を習得、**新たにプログラミング的思考を育成**
 - 中学校：技術・家庭科（技術分野）において**プログラミングに関する内容を充実**
 - 高等学校：**情報科**において**共通必修科目「情報Ⅰ」**を新設し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習

1 情報活用能力とは

情報活用能力とは

世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力

参考：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総則編」（文部科学省）

| 分類 | | |
|--------------------|--|---|
| A. 知識及び技能 | 1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能 | ①情報技術に関する技能 ②情報と情報技術の特性の理解 ③記号の組合せ方の理解 |
| | 2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解 | ①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解 |
| | 3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解 | ①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・情報セキュリティの理解 |
| B. 思考力、判断力、表現力等 | 1 問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む） | 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力 等 |
| C. 学びに向かう力、人間性等 | 1 問題解決・探究における情報活用の態度 | ①多角的に情報を検討しようとする態度 ②試行錯誤し、計画や改善しようとする態度 |
| | 2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度 | ①責任をもって適切に情報を扱おうとする態度 ②情報社会に参画しようとする態度 |

I 情報活用能力とは

情報活用能力の育成に向けて想定される学習内容

| 想定される学習内容 | 例 |
|--|---|
| 基本的な操作等 | キーボード入力やインターネット上の情報の閲覧など、基本的な操作の習得等に関するもの 等 |
| 問題解決・探究における情報活用 | 問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への見通しをもつことができる等、問題解決・探究における情報活用に関するもの 等 |
| プログラミング (問題解決・探究における 情報活用の一部として整理) | 単純な繰り返しを含んだプログラムの作成や問題解決のためにどのような情報を、どのような時に、どれだけ必要とし、どのように処理するかといった道筋を立て、実践しようとするもの 等 |
| 情報モラル・情報セキュリティ | SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報手段に関する知識及び技能を身に付けるものや情報を多角的・多面的に捉えたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりするもの 等 |

参考：「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成」（文部科学省）

I 情報活用能力とは

情報活用能力の育成のための各教科等での実践事例

A. 知識及び 技能

1. 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能

① 情報技術に関する技能

a 「コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作」

学校種 小学校 学年 第2学年 教科等 音楽科 単元名 おまつりの音楽

授業の中で
どのように
情報活用能力を
育成するのか

「おまつり」の雰囲気合った楽器を選び、リズムカードに書かれている様々なリズムパターンを組み合わせ、まとめた音楽にし、グループで演奏する。
何度か演奏した様子をタブレットPCで撮影し、その映像を見返して各グループの最も良い演奏を選び、クラス全員で鑑賞する。



関連する
情報活用能力

【思考力、判断力、表現力等】ステップ1
「体験や活動から疑問を持ち、解決の手順を見通したり分解して、どのような手順の組み合わせが必要かを考えて実行する」

1 情報活用能力とは

情報活用能力の育成のための各教科等での実践事例

B.
思考力、
判断力、
表現力等

「目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する」

学校種 中学校 学年 第3学年 教科等 理科 単元名 地球と私たちの未来のために

授業の中で
どのように
情報活用能力を
育成するのか

「これからの日本はどのような発電方法を選択すべきか」という課題に対し、グループ内で火力・水力・原子力・再生可能エネルギーの4種類の発電方法の担当を決め調査し、発電の割合を検討し、各グループの考えを発表する。その際、インターネットを使い「情報の信頼性」や「科学的根拠」の視点から、担当した発電方法のメリットやデメリットの情報収集・整理をする。また、整理した情報を基に自分の意見を考え、プレゼンテーションソフトに発表資料をまとめ、科学的根拠をもってグループ内で発表し合い、発電の割合を検討する。



関連する
情報活用能力

【知識及び技能】ステップ4

2①a「情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法」

2①c「意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係」

2①f「目的に応じて情報の傾向と変化を捉える方法」

【学びに向かう力、人間性等】ステップ4

1①a「事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする」

1②b「情報及び情報技術を創造しようとする」

I 情報活用能力とは

情報活用能力の育成のための各教科等での実践事例

C.
学びに
向かう力・
人間性等

1. 問題解決・探究における情報活用の態度

①多角的に情報を検討しようとする態度

a「事象を情報とその結びつきの視点から捉えようとする」

| 学校種 | 高等学校 | 学年 | 第2学年 | 教科等 | 国語科(古典B) | 単元名 | 和歌と連歌「和歌十六首」 |
|-----|------|----|------|-----|----------|-----|--------------|
|-----|------|----|------|-----|----------|-----|--------------|

授業の中で
どのように
情報活用能力を
育成するのか

和歌の基礎知識や、和歌が持つ役割・効果について理解し、グループで和歌の口語訳やその情景・背景、込められた意味などを考え、デジタル発表資料を作成して発表する。

文法・修辞法・語彙の知識や歴史的背景などの情報を基に和歌を分析し、込められた感情や情景を思い浮かべ、その内容について深く考察しようとする。



関連する
情報活用能力

【知識及び技能】ステップ4

2①c「意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係」

2 学習活動の視点から見た情報活用能力一覧（参考例）

2 学習活動の視点から見た情報活用能力一覧(参考例)

学習活動の視点から見た情報活用能力一覧(参考例)

※この情報例は「情報活用能力の体系表(初級・中級版) 全体版(文部科学省)」を基に作成したものであり、学校や児童生徒の実態等に応じて内容を変更して活用してください。

| 想定される学習内容 | 学習活動例 | 学校段階 | | | | | 学習・能力の 加齢及び 発展 | 学習に 関する 能力 の 関係 |
|-----------------|---|--|--|---|--|---|----------------------|-----------------------------|
| | | 小学校低学年 | 小学校中・高学年 | 小学校高学年 | 中学校 | 高等学校 | | |
| 問題解決・探究における情報活用 | ・問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への意思をもつ ・問題解決・探究における情報活用に関するもの 等 | ・身近なところから様々な情報を収集する方法 ・簡単な図、表、グラフを用いた情報の整理 ・相手に伝わりやすいプレゼンテーション ・情報活用を繰り返り、よさを気づけること | ・調査や資料等による基本的な情報収集と検証の方法 ・表やグラフなどを用いて情報を整理・相手や目的を重視したプレゼンテーション ・情報活用を繰り返り、改善点を見いだすこと | ・調査や実験・観察等による情報の収集と検証の方法 ・目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理・相手や目的を重視したプレゼンテーション ・情報及び情報技術の活用を繰り返り、効果や改善点を見いだすこと | ・情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法 ・調査の設計方法 ・目的に応じて、表やグラフを用いて情報を統計的に整理・分析 ・クラウドサービス、Webページ、SNS等による検索・交流の方法 ・物事を批判的に考察し新たな価値を見いだすこと ・情報及び情報技術の活用を効率化の観点から評価・改善 | ・情報通信ネットワークから得られた情報の有効性や信頼性の検証の仕方 ・統計的な調査の設計方法 ・統計的整理、図表、構文などを用いて情報を統計的に整理・分析 ・クラウドサービス、Webページ、SNS、ライブ配信等の発信・交流の方法 ・物事を批判的に考察し新たな価値を見いだすこと ・情報及び情報技術の活用を多様な観点から評価・改善 | ○ | |
| プログラミング | ・単純な繰り返しをきんだプログラムの作成 ・問題解決のためにどのような情報を、どのような時に、どれだけ必要とし、どのように処理するかといった課題を立て、実践しようとするもの 等 | ・大きな事象の分解と組みあわせの体験 ・適切な手順が組みあわせで考え、実行 ・プログラミングの学びを繰り返り、よさを気付くようとする | ・単純な繰り返し、条件分岐、データや変数などをきんだプログラムの作成、評価、改善 ・問題解決に向け、考えを立立てて手順を組みあわせで考え、実行 ・プログラミングによる学びを繰り返り、効果や改善点を挙げるようとする | ・意図した処理を行うための最適なプログラムの作成、評価、改善 ・問題解決に向け、計画を立案し、物事を整理しながら実行 ・プログラミングの活用を効率化の観点から評価し、改善しようとする | ・問題発見、解決のための安全・適切なプログラムの作成、動作の確認及びデバッグ等 ・問題解決に向け、計画を立案し、評価・改善しながら実行 ・プログラミングの活用を多様な観点から評価し、改善しようとする | ○ | | |
| 情報モラル・情報セキュリティ | ・クラウドサービス、SNS、ブログ等、相互通信を行う情報手段に関する知識及び技能を身に付けるもの ・情報を多角的・多面的に取ったり、適切な情報に基づいた考えを深めたりするもの 等 | ・人の作ったものを大切にすることで他者に伝えてはいけない情報があることへの理解 ・インターネット(クラウドサービス等)上でのルールやマナーを守り、情報を閲覧、活用すること ・コンピュータなどを利用するときの適切なルールを踏まえ、行動しようとする | ・インターネット(クラウドサービス等)上などにある情報が正しいかどうかを判断し、活用すること ・情報の発信や情報やりとりする場面にもルール、マナーがあることを踏まえ、行動しようとする | ・目的に応じて、クラウドサービス、チャット、電子メール、Webページ、SNSなどを適切に利用できること ・社会は互いにルール・法則を守ることで成り立っていることを踏まえ、行動しようとする | ・目的に応じて、クラウドサービス、チャット、電子メール、Webページ、SNSなどを効果的に活用できること ・情報に関する法則や制度の意義を踏まえ、適切に行動しようとする | ○ | | |
| 情報活用に関する課題 | ・紹介や説明、調査、意見や提案、主張など自分の考えを情報機器等を活用して伝えたり、書いたりする活動 ・インターネットなどを利用し、分かったことや調べたり考えたりしたことを発表する活動 ・インターネットなどを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを発表したり資料にまとめたりする活動 | ・簡単な小見出しなどに留意して必要な情報を発見 ・資料の平らから目的にあわせて情報を選択 | ・目的に応じて、適切な情報の平らから必要な情報を選択 ・二つ以上の情報の情報の平らから、目的に合ったものを選択 | ・目的に応じて、適切な情報の平らから課題解決に役立つかを判断し、情報を選択 ・複数の情報の平らから、適切な方法を使って課題解決に必要なものを選択 | ・目的や意図に応じて多様な情報源を活用し、必要な各種情報を選択 ・複数の情報を目的に応じて比較・分類、整理付け、多角的・多面的に分析 ・集った複数の情報を適切に比較・分類し、情報のもつ価値や優劣等を判断しながら情報を選択 ・自分の考えとは異なる意見の資料も取り入れ、様々な考えや解釈のあることを理解した上で総合的に判断して活用 | ○ | | |



| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> データの保存、ファイルを開く、クラウドへの保存、フォルダの整理 等 音声による文字入力、文字の入力、文章の入力・編集、タイピング、ショートカットキーの活用、文字を正確に入力することができる 等 インターネットによる検索(単語・キーワード) インターネットによる検索(AND、ORなどを用いた検索) 電子メール、メッセージの送受信 等 表計算(グラフ、グラフ等)による検索、色付け 等 写真データの加工、写真データの取り込み、写真や画像等を文書への挿入 等 動画の編集 等 プレゼンテーションアプリの活用(文字入力、グラフ、アニメーション) プレゼンテーションアプリのハイパーリンクの活用 簡単な関数を使用した計算、グラフの作成 等 統計処理 等 タブレットの拡大機能、読み上げ機能の活用 文字変換アプリの活用 入出力支援機能(電卓等)の活用 遠隔授業配信(クラウド活用) | <p>デジタル読解力</p> <p>＜情報を探し出す＞</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルテキスト中の情報にアクセスし、取り出す。 関連するデジタルテキストを探索し、選び出す。 <p>＜理解する＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初の意味を理解する。 統合し、補遺を創出する。 <p>＜評価し、熟考する＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 質と価値を評価する。 内容と形式について、熟考する。 必要を裏付けて活用する。 |
|--|--|

情報活用能力
 保の中様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、課題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力

<https://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-portalsite.html>

2 学習活動の視点から見た情報活用能力一覧(参考例)

本参考例の特色①

| 想定される学習内容 | 学習活動例 | 小学校低学年 | 小学校中学年 |
|-----------------|--|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところから様々な情報を収集する方法 ・簡単な絵、図、表、グラフを用いた情報の整理 ・相手に伝わるようなプレゼンテーション ・情報活用を振り返り、よさを見つけること | <ul style="list-style-type: none"> ・調査や資料等による基本的な情報収集の方法 ・表やグラフなどを用いて情報を整理 ・相手や目的を意識したプレゼンテーション ・情報活用を振り返り、改善点を見出すこと |
| 問題解決・探究における情報活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への見通しをもつ ・問題解決・探究における情報活用に関するもの 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな事象の分解と組み合わせの体験 ・適切な手順の組み合わせを考え、実行 ・プログラミングの学びを振り返り、良さを付けようとする ・人の作ったものを大切にすることや他 | <ul style="list-style-type: none"> ・単なる繰り返し・条件分岐・データや変数などを含んだプログラムの作成、評価、改善 ・問題解決に向け、見通しを立てて手順の組み合わせを考え、実行 ・プログラミングによる学びを振り返り、改善点を見出そうとする ・自分の情報や他人の情報の大切さにつ |
| プログラミング | <ul style="list-style-type: none"> ・単純な繰り返しを含んだプログラムの作成 ・問題解決のためにどのような情報を、どのような時に、どれだけ必要とし、どのように処理をするかといった道筋を立て、実践しようとするもの 等 | | |



「想定される学習内容」と「学習活動例」から求められる情報活用能力を見童生徒の発達段階に応じて整理



2 学習活動の視点から見た情報活用能力一覧(参考例)

本参考例の特色②

| 中学校 | 高等学校 | 資質・能力 | | |
|--|---|--------|--------------|--------------|
| | | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法 ・調査の設計方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークから得られた情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方 ・統計的な調査の設計方法 | ○ | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、表やグラフを用いて情報を統計的に整理 ・クラウドサービス、Webページ、SNS等による発信・交流の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・統計指標、回帰、検定などを用いて情報を統計的に整理、分析 ・クラウドサービス、Webページ、SNS、ライブ配信等の発信・交流の方法 | ○ | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・物事を批判的に考察・判断 ・情報及び情報技術の活用を効率化の観点から評価・改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・物事を批判的に考察し新たな価値を見出すこと ・情報及び情報技術の活用を多様な視点から評価・改善 | | ○ | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決のための安全・適切な | <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決のためのプログラムの | | | |

各教科等において育むことを目指す資質・能力と同様に、
資質・能力の三つの柱に沿って整理



2 学習活動の視点から見た情報活用能力一覧(参考例)

本参考例の特色③

| 考えを深めたりするもの 等 | ・コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする | ・情報の発信や情報やりとりする場面にもルール、マナーがあることを踏まえ、行動しようとする | ・通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえ、行動しようとする | ・社会は互いにルール・法を守ることによって成り立っていることを踏まえ、行動しようとする | ・情報に関する法律を踏まえ、適切に行動しようとする |
|--|--|--|---|--|--|
| <p>情報活用に関する説明</p> <ul style="list-style-type: none"> - 紹介や説明、報告、意見や感想、主張など自分の考えを情報機器等を利用して誌したり、書いたりする活動 - インターネットなどを利用して、分かったことや調べたり考えたりしたことを報告する活動 - インターネットなどを利用して、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする活動 | <ul style="list-style-type: none"> - 題名や小見出しなどに着目して必要な情報を発見 - 資料の中から目的に合わせて情報を選択 | <ul style="list-style-type: none"> - 目的に応じて、複数の情報の中から必要な情報を選択 - 二つ以上の情報の情報の中から、目的に合ったものを選択 | <ul style="list-style-type: none"> - 目的に応じて、複数の情報の中から課題解決に役立つかを判断し、情報を選択 - 複数の情報の中から、適切な方法を使って課題解決に必要なものを選択 | <ul style="list-style-type: none"> - 目的や意図に応じて多様な情報源を活用し、必要な多様な情報を選択 - 複数の情報を目的に応じて比較、分類、関連付け、多面的・多角的に分析 | <ul style="list-style-type: none"> - 自分の設定した課題解決できるかを考察し、多様な資料を的確に、目的に応じて多様な情報の特性を生かし活用 - 常に複数の情報を分類し、情報のもつ強弱を判断しながら情報を選択 - 自分の考えとは異なり入れ、様々な考えを理解した上で総合的に活用 |

| | |
|--------------------------------------|--|
| アプリケーション (クラウドサービス内アプリケーション含む) 等の活用例 | <p>基本的な操作</p> <ul style="list-style-type: none"> - PCの起動・終了、アカウントの取扱い、印刷、入力インターフェースの操作、背面カメラの操作 等 |
| | <p>ファイルの操作</p> <ul style="list-style-type: none"> - ファイルの保存、ファイルを開く、クラウドへの保存、フォルダの整理 等 |
| | <p>キーボード入力、音声</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声による文字入力、文字の入力、文章の入力・編集、タイピング、ショートカットキーの活用、文字を正確に入力することができる 等 |
| | <p>インターネット</p> <ul style="list-style-type: none"> - インターネットによる検索(単語・キーワード) - インターネットによる検索(AND、ORなどを用いた検索) - 電子メール、メッセージの送受信 等 |
| | <p>画像処理</p> <ul style="list-style-type: none"> - 写真の撮影(デジカメ、アプリ等) - ベイドアプリによる補正、色付け 等 - 写真データの加工、写真データの取り込み、写真や画像等を文書への挿入 等 - 動画の編集 等 |
| | <p>プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> - プレゼンテーションアプリの活用(文字入力、グラフ、アニメーション) - プレゼンテーションアプリのハイパーリンクの活用 |
| | <p>表計算</p> <ul style="list-style-type: none"> - 簡単な関数を使用した計算、グラフの作成 等 - 統計処理 等 |
| | <p>障がいに応じた活用例</p> <ul style="list-style-type: none"> - iPadの操作 - タブレットの拡大機能、読み上げ機能の活用 - 文字変換アプリの活用 - 入出力支援機器(電卓表示等)の活用 - 遠隔授業配信(クラウド活用) |

情報活用能力の育成に関わるアプリケーション等の活用例について、児童生徒の発達の段階に応じて例示



2 学習活動の視点から見た情報活用能力一覧

その他の特色



学習活動の視点から見た情報活用能力一覧（参考例）

※この情報例は「情報活用能力の体系表例（令和元年年度）全学版（文部科学省）」を基に作成したものであり、学校や児童生徒の実態に応じて内容を変更して活用してください。

| 達成される学習内容 | 学習活動例 | 学校段階 | | | | | 資質・能力 | | |
|-----------------|--|----------------------------|-----------------------------|--|---|--|--------|--------------|--------------|
| | | 小学校低学年 | 小学校中学年 | 小学校高学年 | 中学校 | 高等学校 | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 問題解決・探究における情報活用 | 問題解決のために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への見通しを立てる。問題解決・探究における情報活用に関するもの 等 | 身近なところから様々な情報を収集する方法 | 調査や資料集による基本的な情報収集の方法 | 調査や実験、観察集による情報の収集と検証の方法 | 情報通信ネットワークなどからの効率的な情報の検索と検証の方法 統計的な調査の解釈方法 | 情報通信ネットワークから得られた情報の有効性や信頼性の検討の仕方 統計的な調査の解釈方法 | ○ | | |
| プログラミング | 単純な繰り返しをきんだプログラムの作成 問題解決のためにどのような情報を、どのような時に、どのだけ必要とし、どのように活用するかといった道筋を立て、実行しようとするもの 等 | 大きな事象の分解と組みあわせの体験 | 単純な繰り返し、条件分岐、データや | 単純な繰り返し、条件分岐、データや | 単純な繰り返し、条件分岐、データや | 問題発見、解決のための安全・適切な | ○ | | |
| 情報モラル・情報セキュリティ | クラウドサービス、SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報空間に関する知識及び技能を身に付けるもの 情報を多角的・多面的に捉えた上、複数の情報を基に自分の考えを深めたりするもの 等 | 上でのルールやマナーを守り、情報を閲覧、活用すること | 上などにある情報が正しいかどうかを判断し、活用すること | クラウドサービス、チャット、電子メール、Webページ、SNSなどを利用できること | チャット、電子メール、Webページ、SNSなどを利用できること | チャット、電子メール、Webページ、SNSなどを利用できること | ○ | | |
| 情報活用に関する説明 | 紹介や説明、報告、意見や提案、主張など自分の考えを情報機器等を活用して伝えたり、書いたりする活動 インターネットなどを利用して、分かったことや調べたり書いたりしたことを報告する活動 インターネットを利用して、多様な情報を得て、考えたことなどを発表したり資料にまとめたりする活動 | 紹介や小見出しなどに留意して必要な情報を発見 | 目的に応じて、複数の情報の中から必要な情報を選択 | 目的に応じて、複数の情報の中から適切な方法を使って問題解決に必要なものを選択 | 目的や意図に応じて多様な情報源を活用し、必要な各種情報を選択 | 自分の設定した検索が見通しをもって解決できるかを考えながら、検索による多様な資料の確に収集 目的に応じて多岐にわたる検索方法で情報の探検をしながら様々な情報を選択 | ○ | | |

学校や児童生徒の実態に応じて内容を変更できるように、Excelファイルをポータルサイトに掲載

学校の取組の参考となる資料を例示

- インターネットによる検索（検索、キー、インターネットによる検索（AOL、MSN）
- 電子メール、メッセージの送受信 等
- 写真データの加工、写真データの取り込み
- プレゼンテーションアプリの活用（文字

情報活用能力に関する用語や基本的な考え方を記載

- 参考資料
- 情報活用能力の体系表例（令和元年年度）全学版（文部科学省）
 - 教育の情報化の年刊「情報化」（令和2年、文部科学省）
 - 学習の基礎となる資質・能力としての情報活用能力の育成（令和2年、文部科学省）
 - 特別支援学校教育事情、学習指導要領解説情報科編（幼稚園、小学校、中学校）（平成30年、文部科学省）
 - ICT活用推進指針（令和2年、北海道教育委員会）
 - ICT活用ポータルサイト（北海道教育委員会）
(<https://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-portal/aihta.html>)

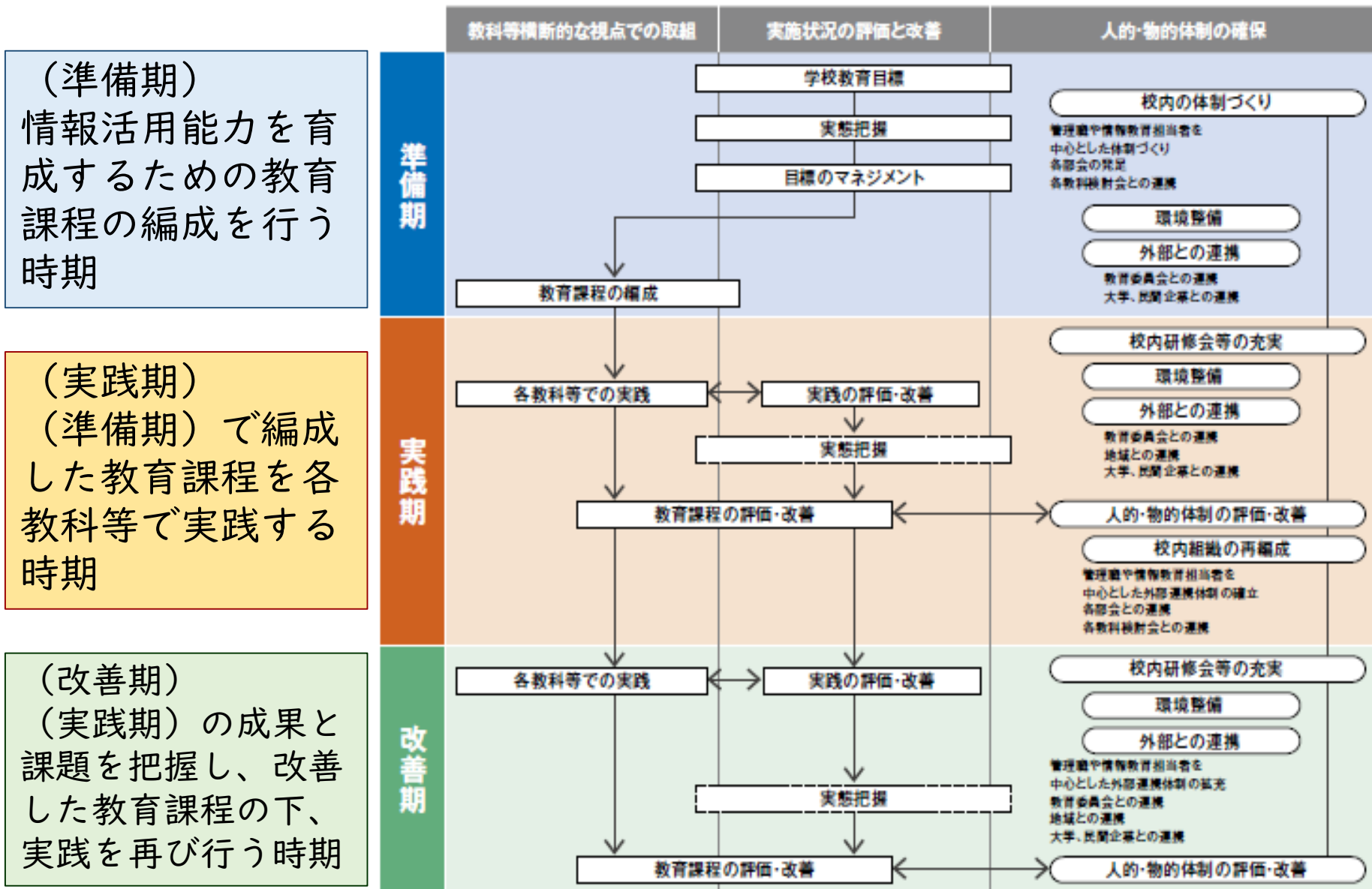
情報活用能力
 複数の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力
 OECD主催の学習到達度調査（PISA）における読解力
 自らの目標を達成し、自らの福祉と可能性を促進させ、効果的に社会に参加するために、テキストを理解し、評価し、利用し、熟考し、これに取り組みこと（OECD主催の学習到達度調査（PISA）～2018年度国際結果の要約～【国立教育政策研究所】）

- デジタル読解力
- 情報を探し出す>
デジタルテキスト中の情報にアクセスし、取り出す。
関連するデジタルテキストを探出し、読み出す。
 - 理解する>
単語の意味を理解する。
統合し、推測を刷新する。
 - 評価し、熟考する>
質と価値を評価する。
内容と形式について、熟考する。
必要を裏付けて判断する。
- 情報活用目標の3層構造
- A 情報活用の実践的
 - B 情報の科学的な理解
 - C 情報社会に参加する態度

3 情報活用能力を育成するための カリキュラム・マネジメント

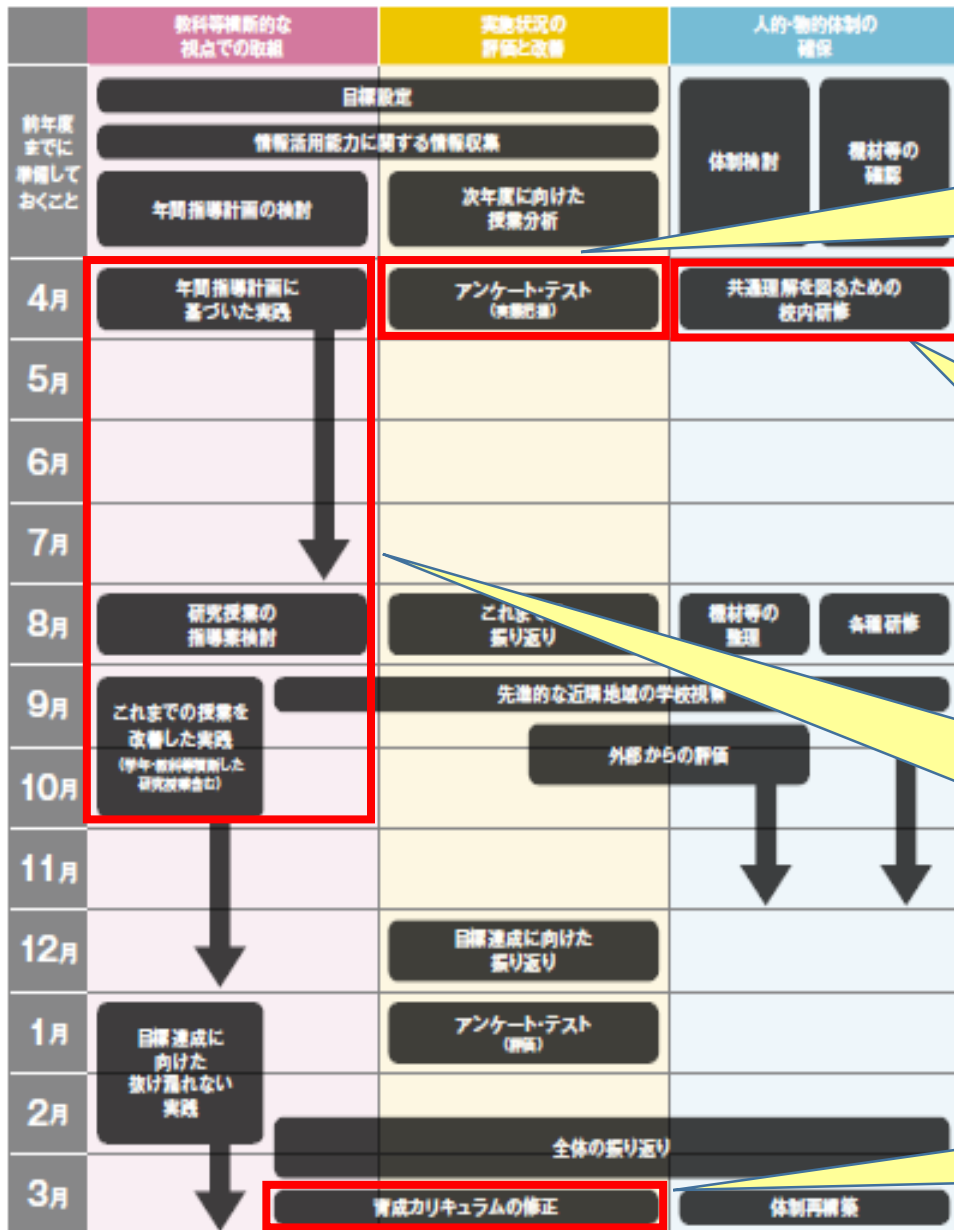
3 情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメント

情報活用能力育成のためのカリキュラム・マネジメントモデル



参考:「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成」(文部科学省) 18

3 情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメント



情報活用能力に関する実態調査のアンケートを行うなどして、児童生徒の**実態を把握**することが大切です。

自校で育成すべき情報活用能力について、**全教職員で話し合う**などして、**共通理解を図る**ことが大切です。

情報活用能力の育成を目指した**実践を重ねるとともに**、年間を通じた**評価・改善**に取り組むことが大切です。

成果と課題を踏まえて、**カリキュラムを修正**することが大切です。

3 情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメント

情報活用能力の育成に向けた組織的な取組のアイデア

教育課程の編成

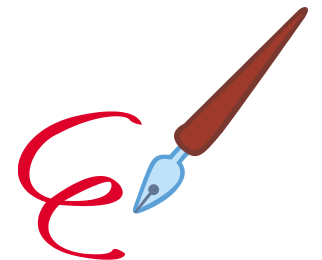
- ・ 昨年度までのカリキュラムを確認し、情報活用能力の育成に関連のある単元や学習内容を整理
- ・ 近隣の小・中学校（高等学校）の担当者と集まり、合同で情報活用能力育成の年間指導計画を作成
- ・ 今までに作成されている情報活用能力育成に関する教材等を積極的に収集・共有して、授業のイメージを明確にする など

各教科等での実践

- ・ 研究授業を実施する際は、指導案に本単元及び本時に関係する情報活用能力を明記し、参観の視点とする
- ・ 教員同士が日常的に授業を見合う機会を多く作ることで、実践を通じた情報活用能力のイメージを共有する など

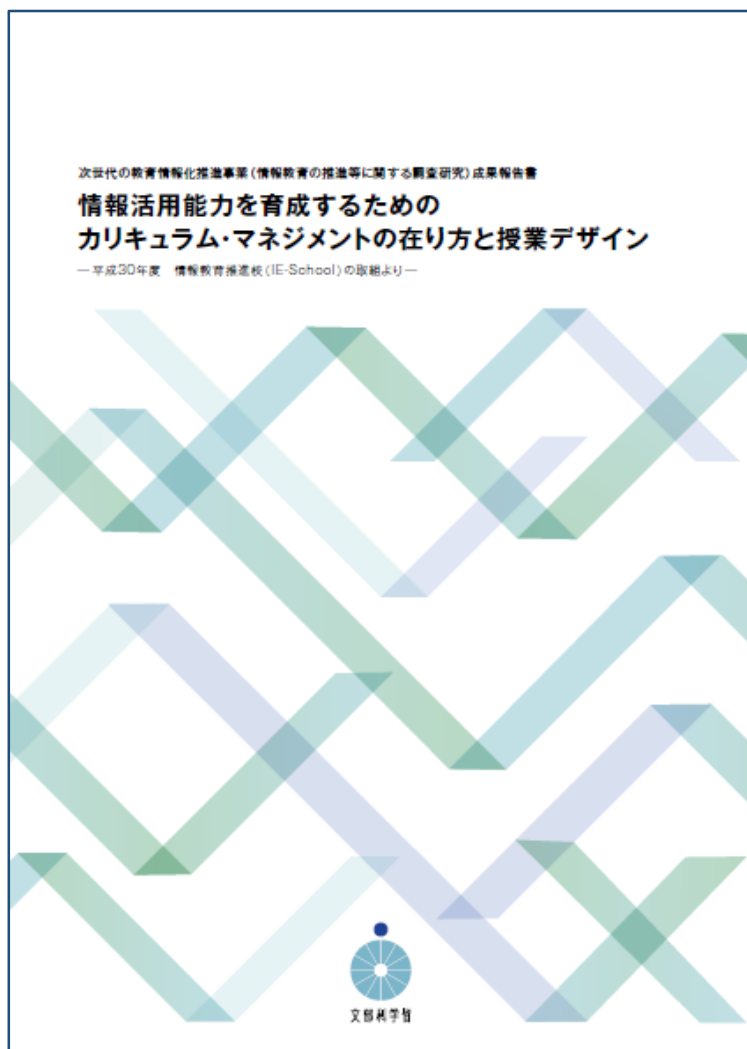
整理しましょう

これまでの説明を踏まえ、皆さんの学校では情報活用能力の育成に向けて、どのような取組が必要でしょうか。



4 参考となる資料について

4 参考となる資料について



次世代の教育情報化推進事業「情報教育の推進等に関する調査研究」
成果報告書（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1400796.htm



4 参考となる資料について

HOME > 教育庁 > ICT教育推進局 ICT教育推進課 > ICT関連情報 (リンク集)

ICT関連情報 (リンク集)



ICT関連情報 (リンク集)



情報活用能力の育成に関する様々な資料へアクセスできます。

<教員研修>

○ICT活用授業モデル (Tips編) [北海道教育委員会] [☞](#)

[授業モデル【Tips 編】](#) [☞](#)

○ICT活用授業モデル (デザイン編) [北海道教育委員会] [☞](#)

[授業モデル【デザイン編】](#) [☞](#)

↓★ICT活用をスタートする際に、最初に必要となる情報をコンパクトにまとめました。

[ICT活用ミニハンドブック](#)

↓★ICT活用「みんなで研修」プログラムはこちら

[「みんなで研修」](#) [☞](#)

○ICT活用事例 [立部科学室] [☞](#)



<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-link.html>

ICT活用「みんなで研修」プログラム

- ▶ ICT活用の基本的なポイントを短時間で
- ▶ 職員会議や校内研修などの機会にみんなで研修
- ▶ 本道における取組を紹介
- ▶ 幅広いテーマの研修資料を追加

アンケートの入力を
お願いします。

